

J-POWER(電源開発株式会社)様

AI要約を活用し議事録作成。
体感9割以上の精度で文字起こしされ、
業務負担が軽減し会議にも集中。



導入前の課題

- 議事録作成に数日を要しており、業務効率化したいという要望が出ていた
- 会議中メモを取っている場合、会議についていけなかった
- 複数ユーザーでライセンスを共有して使用したい

導入後の効果

- 議事録作成が効率化され、業務削減につながった
- 会議中の文字起こしが不要になり会議に集中できるように
- フローティングライセンスなので社内共有しやすく、情報も管理しやすい

発話者区別など細かな議事録作成に数日かかっていた

社外会議など大きな会議では「誰が何を言ったか」を記録した議事録を作成することもあり、当日のメモや録音から議事録を作るのは担当者に負担がかかっていました。規模にもよりますが、議事録作成に数日要する場合もあり、現場から業務を効率化したいという声があがっていました。

文字起こしではなく議事録は要約が必須

議事録は会議中の会話を記録した文字起こしではなく、どんな内容だったかの要約が必要です。議事録を担当するのは若手の社員が多く、その人が文字起こしを要約して議事録を作成するには技術を要するなど考えたときに、「ScribeAssist」だと要約機能が備わっていたため選びました。

フローティングライセンスという点が導入の決め手

議事録ツールを導入する上で、他社のツールも比較しました。その結果「ScribeAssist」は、フローティングライセンス形式を選択することで、柔軟にライセンスの利用ができることが社内のソフト利用形態にマッチしており、導入の決め手となりました。

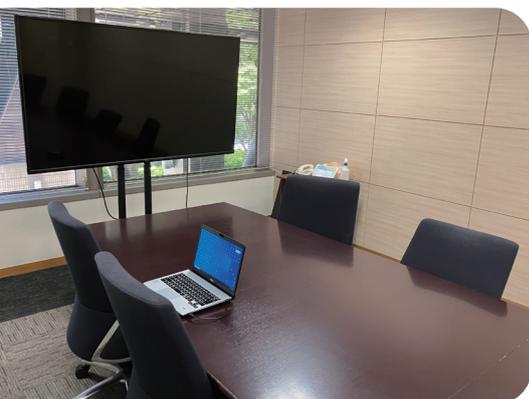
音声認識精度は9割以上。正確性に満足

対面の会議でもWeb会議でも音声認識の精度は変わらず、体感では約9割以上は正確に文字起こしできているのでとても助かっ

ています。複数人や距離が遠い場合は認識精度が落ちますが、性能が良いマイクを活用すればカバーできると感じています。

重要会議に集中できるようになり、若手の業務負担を削減

「ScribeAssist」を活用することで文字起こし作業がなくなり、会議に集中できるように



▲ ScribeAssist の利用イメージ



J-POWER(電源開発株式会社)

| | |
|-------|--------------|
| サービス | ScribeAssist |
| 業種 | インフラ |
| 利用シーン | 社内打合せ・経営会議 |
| 導入 | 2021年4月 |

なったという感想を聞いています。会議中メモを取っていたときは、会議についていけないという意見が出ていました。議事録作成の時間も削減され、主に若手社員の業務負担の軽減につながりました。

お客様からのコメント

「ScribeAssist」を導入した当初は一つの部署での利用でしたが、社内でのDX関係の交流会で議事録作成の取り組みとして紹介したところ、興味を持つ部署が多数あり、現在では全社通して10部署以上で利用されています。今後、多言語対応や翻訳などのアップデートがあればより社内でも活用されると思っているので期待しています。

導入実績

2024年9月現在 / 議事録ソリューションの導入実績

民間企業・**1750** 件以上
団体

金融

- ・オリエントコーポレーション
- ・オリックス生命保険
- ・さわやか信用金庫
- ・湘南信用金庫
- ・大同生命保険
- ・東日本銀行
- ・福井信用金庫
- ・みずほ銀行
- ・三井住友銀行
- ・明治安田生命保険相互会社
- ・横浜銀行
- ・りそな銀行

化学

- ・ポラオールビス・ホールディングス
- ・三菱ガス化学
- ・UBE

公共インフラ

- ・NTTコミュニケーションズ
- ・コスモエネルギーホールディングス
- ・四国電力
- ・全日本空輸
- ・東日本旅客鉄道

建設

- ・飛鳥建設

報道機関

- ・仙台放送
- ・十勝毎日新聞
- ・日本テレビ放送網
- ・フジテレビジョン

医療

- ・会津中央病院
- ・稲沢市民病院
- ・日本赤十字社
- ・日本超音波医学会

JA

- ・全国共済農業協同組合連合会
- ・仙台農業協同組合
- ・とびあ浜松農業御同組合
- ・飛騨農業協同組合

中央省庁

- ・経産省
- ・財務省
- ・内閣府
- ・防衛省

その他

- ・アスクル
- ・And Do ホールディングス
- ・セイコーグループ
- ・西武ホールディングス
- ・日本テレワーク協会
- ・びあ
- ・本田技研工業
- ・LIXIL

製品情報

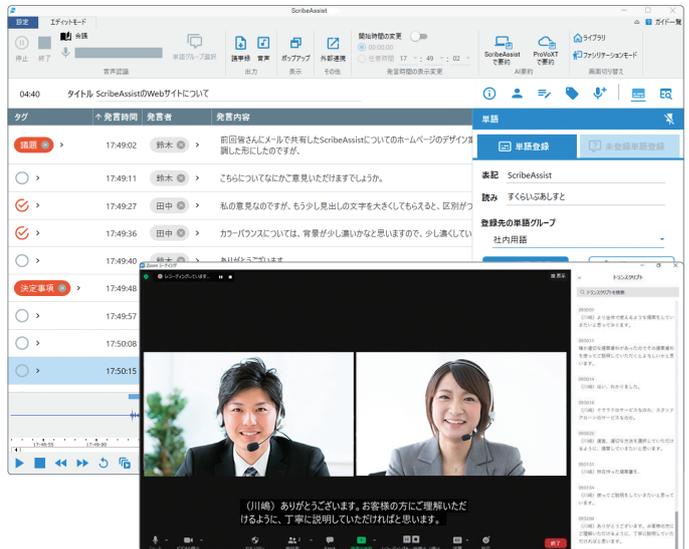


AI音声認識とAI要約で 議事録作成を自動化します

ScribeAssist (スクライバアシスト) は、音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。

スタンドアロン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。

ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる手間を大幅に削減します。



製品詳細ページはこちら



※アドバンス・メディア(株)日本情報処理開発協会により、個人情報を適切に取り扱っている事業者であることを示す「プライバシーマーク」の付与認定を受けています。



(開発・発売元)

株式会社アドバンス・メディア

VoXT (ボクスト) 事業部

〒170-6042

東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

URL: <https://www.advanced-media.co.jp/>

Mail: voxt-info@advanced-media.co.jp